

ツボミゴケ科

コモチハネゴケ

Xenochila integrifolia (Mitt.) Inoue

兵庫県ランク… A

環境省ランク… ー

■ 県内分布

宍粟市

■ 国内分布

本州、四国

■ 選定理由

人為性		特殊性		学術性	
生育環境破壊		特殊生育環境		特殊な分布	
観賞用等採取		特異な生態		分布の限界	○
				希少	○



■ 特記事項

茎の先がムチ状に伸びて無性芽をつけるのが特徴。現状不明。

■ 保護上の留意点

ー

■ 種の概要

茎は長さ約1cm、ハネゴケ型分枝し、先端は急に直立してひも状となり、無性芽をつける。仮根は無色、葉の腹縁基部に束生する。葉は密に重なり、円みのある三角形で全縁、円頭。葉身細胞は薄壁、トリゴンが小さく、表面にベルカがある。油体は各細胞に10-26個、球形から紡錘形、微粒の集合。腹葉はない。無性芽は楕円体、多細胞。生殖器官は日本産では未知。おもにブナ帯の岩上や倒木上に他の蘚苔類に混じってはえるがきわめてまれ。